

「敬天新聞」の白倉社主、名誉毀損で書類送検されていた

投稿日時 2018-4-25 1:09:30
執筆者 Yamaoka

“右翼標榜暴力団”の新聞社である「**敬天新聞社**」(埼玉県戸田市。冒頭写真)の**白倉康夫**社主が、昨年9月9日、インターネット上の「敬天新聞」なるサイトにおける名誉毀損事件で警視庁原宿警察署に告訴受理されていた件で、今年2月9日、東京地検に送検されていたことがわかった。



名誉毀損に問われているのは、昨年4月7日に連載を開始し、現在も実に81回に渡り続けている「**凄腕の女地上げ師まきりん**」とのタイトル記事。

すでに送検されて2カ月以上経過しているが、**白倉氏**に関しては他にも少なくとも3件の刑事告訴案件があるそうで、その状況なども精査しての意向であることから、処分が出るまでにはまだかなりの期間を要するようだ。

本紙でも追及していた東京・**南青山3丁目の地上げ**をまとめたとされる女性がターゲットになっており、その当人が告訴人。

それにしても、本紙がしばしば取り上げている**安倍晋三**首相など明らかな公人、また**田邊勝己**弁護士に関するなど調査報道の結果疑惑濃厚というならともかく、単なる一不動産会社社長につき、なぜ81回とこれほど執拗に報じる必要があるのか？ しかもその内容は投書とされる類の文書をきちんと検証することなく転載してのことなのだ。



おまけに、その連載のなかには盗撮したと思われるその女性社長の写真を掲載し容姿を揶揄したり、「文章が真面目過ぎて面白くなかったので、私が多少脚色して書いていました」(連載4回目記事より)と白倉氏(横写真)自ら記事上で脚色(=虚偽記載)を自白している。

告訴人女性によれば、白倉氏と親しいと自称する複数の人物から、数千万円の金銭を支払って記事削除を要請するように促された=脅迫を受けていたという。

また、そのなかにはジャーナリストもおり、その者からは、カネを払って削除しないと他のメディアに飛び火し、通常の生活が送れなくなる。さらに、白倉氏はネットに姉や取引先の情報も公開し、そこに街宣車を送る用意をしているともいわれたそうだ。

こうした結果、彼女は精神的に追い込まれ、精神科でカウンセリングを受け、薬を飲まない日々の生活を送れない状況に置かれているという。

「私は、南青山においても取引関係があったところが、その後、関係悪化、私への妬みもあり、逆恨みから、敬天新聞やジャーナリストらに金銭を支払い、こうした攻撃や脅しをしていると確信しています。絶対に許せません。白倉以外の者も告訴すべく動いています。いくら時間がかかっても、この真相を暴く覚悟です」(告訴人女性社長)

なお、白倉氏には本紙・山岡も過去、**ずいぶんひどい目にあわされた**ことがある。

アクセスジャーナルにて更に多くのブログを読むことができます。

<http://www.accessjournal.jp>

このブログのURL

http://www.accessjournal.jp/modules/weblog/details.php?blog_id=8520